

# Minuma Shun Sai 見沼・旬彩

2018-2019年冬号 vol.10



▲見沼大根



▲なべちゃんねぎ

きれいな紅色の、その名も「見沼大根」は辛味も少なく生食用。種苗家との連携で生まれたオリジナル品種です。サラダの彩りや、お漬物にぴったり。大根おろしも好評です。酢を加えると全体が鮮やかな紅色になります。そしてこれからの季節にぴったりなのが「なべちゃんねぎ」。生産者の武笠佳司さんは、三室・三浦地域で四季折々の色々な野菜を栽培しています。主にステラタウン大宮わくわく広場とマミーマート三室山崎店で買えます。

ステラタウン大宮 わくわく広場:北区宮原町1-854-1  
TEL.048-662-0831 営業時間:10:00 ~ 21:00  
マミーマート三室山崎店:緑区三室366-2  
TEL.048-810-0600 営業時間:9:00 ~ 22:00



▲武笠佳司さん



## 上山口新田の水田を守ろう! 2

本誌2018夏号の“休耕田復活”的続編。今回は地権者、小山一喜さんの今は亡きお父さんが高齢の為、一時田んぼを貸し出したが、長続きせず、その後は放置状態でした。



▲小山一喜さん

農業経験がないこと、東京在住であることから、気にはなっていたが、どうするか、考えあぐねていたようです。そこに、親戚筋の小山吉男さんと、折角の景観を何とかしたい市民団体から一緒にやりましょうと声を掛けられ、その気になり、一念発起、仕事をつづけながら、毎週東京から通う生活を始めました。異常高温下の草取りも乗り越え、9月末にはほぼ予想通りの収穫が得られました。農家・地権者・市民団体の3者協力には感謝あるのみのこと。

今後については、同様の協力が得られるなら、当面、今の形を継続したい、それ以降は、農地活用中間管理機構の活用も含め、じっくり考えたいとの話



し。又、子供もこちらに来る時には、必ず、田んぼに連れ出しており、ファンも是非見せておきたいとおっしゃっています。

## 『おせち料理』

里芋はコレステロールを下げ、ゴボウは若返り効果のポリフェノール、デトックス効果あり、人参は感染症予防効果、免疫力UP、と昔からの知恵の集まるおせち料理の「煮しめ」。



冬の根菜を中心につの鍋に集めてそれぞれの家庭の味で煮しめます。飾りに南天を添えて(難を軽減)。

## 緑のトラスト保全1号地前の「みどり直売所」

見沼代用水東縁の総持院門前にある直売所です。朝8時半のオープン時から大勢のお客さんが集まります。取材日は、毎週立寄るというサイクリングのシニアグループや、馴染みの車のお客さん、そして近隣の人たちで賑わっていました。店先にはベンチが用意され、お客様と直売所代表の厚澤純子さんの楽しい会話が弾みます。

10月下旬には、銀杏・生落花生・小豆・ささげ・ゴマ・里芋・さつま芋から春菊・小松菜・葱にコシヒカリ(新米)等、四季折々の採りたての香り豊かな品々が並びます。それぞれの作物の美味しい見分け方や料理方法まで、厚澤さんとスタッフの方が気さくに相談に乗ってくれます。

傍らには花や手作りの衣類(ベスト・上衣・帽子等)も並びます。見沼代用水散策がてら、こののどかなスポットに是非お立ち寄りください。

## 緑区南部領辻地内

TEL.048-878-1350

(厚澤代表宅)

営業日時:土日 8:30 ~

15:00



▲厚澤純子さん(中央)とスタッフの方達



## 平成30年度 年末農産物即売会について

平成30年12月25日(火) 10:00~14:00(雨天決行)

場所:さいたま市役所東側ひろば

さいたま市内の農家さんが、正用の農産物の即売会を開催します。人気のある季節の花や、日頃見かけない珍しい農産物など、色とりどりに販売されます。農家さんが揚いたいのし餅も販売の予定です。



## 見沼・さぎ山交流ひろば運営協議会

## 「私の好きな見沼たんぽ」写真コンクール受賞作品展

平成30年12月中旬~平成31年1月下旬

場所:Cafeギャラリー「やってるよ」 見沼区片柳1-158-2 萬年寺(ばんねんじ)の隣  
問い合わせ:携帯 080-6602-3722

「私の好きな見沼たんぽ 2017」写真コンクール作品集より

## お店紹介!

## Cafeギャラリー「やってるよ」



中村久美子さん▶



井沢弥惣兵衛ゆかりの片柳・萬年寺の隣にあるお店。周りは静かで、こんな所にこんなしゃれたお店が! 見沼散策で一休みするのにピッタリです。ご夫婦で開業して8年、火曜日以外、交代で店を切り盛りしています。5、15、25日はカレーの日、美味しいコーヒーもセットで600円。土、日は焼き芋(季節)、定番の焼うどんなど、リーズナブルで人気のメニューが並びます。

また毎月月曜日はオカリナ教室、木曜日は水彩画スケッチ会、その他イベント会場としても利用。室内の壁には訪れた日は「春里の会」の子供たちの絵が展示され、棚には木の実や自然素材のアクセサリー等も置かれていてギャラリーとしてもいろいろな皆さんに活用されていることが分ります。

見沼区片柳1-158-2 TEL.080-6602-3722

営業:10:30 ~ 17:00 火曜日休み

\*駐車場、犬の休憩所あり

## 365日開いている直売所「染大(せんだい)」



▲店内情景 (中央は社長の吉田茂雄さん)

市営霊園「思い出の里」にある花と野菜の店『染大』。染谷地区と大谷地区の生産者が採りたて野菜を毎朝運び込んでいます。年中無休が自慢で広い駐車場もあります。皆さん一度訪ねてみてはいかがですか。広大な園内は植栽豊かで散策にも快適です。



▲案内看板

店内は四季折々地元野菜があふれおり、特に春のタケノコ、夏の谷中ショウガはおすすめ(吉田社長談)。遠方から楽しみに訪ねて来る人も多いそうです。

見沼区大谷600番  
TEL.048-686-9447  
開店日時:年中無休  
9:00～17:00  
(冬は16:30)  
  
直売所外観▶



## 小熊 勇さんのゴボウ

「小熊果実園」の小熊勇さんは梨とブドウの栽培がメインですが、四季折々の野菜も栽培していて、これからの季節はゴボウやにんじん、ほうれん草、里芋、八つ頭などが人気です。愛情たっぷりで育てられた野菜は元気にのびのびと、写真のようなりっぱなゴボウに育っています。おいしさは、常連さんの予約が詰まっている事でも立証済み。年末には加茂宮のグッドファームでも販売します。

グッドファームハウスサカガミ宮原  
北区宮原町1-282-13 TEL.048-664-8080  
営業時間:10:00～21:00 1/1・1/2以外は年中無休

## シクラメン生産販売「猪原園芸」



▲開発した「舞衣(マイクロモ)」と園主の猪原茂樹さん

交差点・宮ヶ塔西から近い道路沿いの大きな看板が目印です。50年以上にわたり、生産販売しています。父親からの2代目であり、23年前からシクラメン生産と販売を行い、現在、約50種の品種までお気に入りのお花を探すことができます。特に、10年前に開発しました「舞衣」は、赤と白の美しいシクラメンです。埼玉県が育成した芳香シクラメンの販売も行っています。今年は猛暑で花咲きが遅かったが、現在は順調に来ています。シクラメン関連の施設は、4棟のビニールハウスを含め、約800坪です。リピーターや口コミによる顧客が多く、贈答品や宅急便もかなりの割合です。ご夫婦と母親の3名でおこなっています。奥さんは、第16回埼玉農業女子猪原奈穂子さんであり、シクラメンの栽培にも長けています。

見沼区東宮下830  
ご注文・お問い合わせ TEL.048-683-2672  
営業日:11月1日～12月31日  
取扱品目:シクラメン(6号～8号鉢)、ミニシクラメン(2.5号～4号鉢)



▲小熊 勇さん

## 守屋勝代さんのお漬物とドライフルーツ



晩秋の日差しの中にずらりと並んだ沢庵大根。これからじっくり干して漬け込んで、美味しい沢庵漬けが出来上がります。

なんとも贅沢な無農薬栽培のシャインマスカットの干しうどうは、とってもジューシー。その他、白菜漬けや柿のチップス、カリカリ梅など、素材から

## お店紹介!

## 菓子工房まーぶる



紅赤タルト▶

すべて自家製で、守屋さんが手間ひま惜しまず愛情込めて仕上げています。お味噌も多くのリピーターさんがいて、その人気を物語っています。販売は主に染谷農産物直売所で、数量に余裕のある時は木崎ぐるめ米ランドにも出しています。

・染谷農産物直売所(片柳コミュニティセンター内):見沼区染谷3-147-1 土・日 9:15～16:00  
・JAさいたま木崎ぐるめ米ランド:浦和区領家4-24-16 年中無休(年末年始を除く) 10:00～18:00、11月～3月まで 10:00～17:30  
問合せ先(守屋勝代さん) Tel.090-6650-9228



▲各種ドライフルーツやカリカリ梅

見沼区堀崎の住宅街にある菓子工房です。17年前に松林淳子さんがお一人でオープンし、新鮮な素材・地元食材を重視したケーキは、近隣のみならず、遠くから車で買いに来る人気です。こじんまりしたお店に隣接する家庭菜園は、ご主人である省策さんの手入れが行き届いた見事なレイアウトで季節の野菜・ハーブが育ち、奥さんが作るケーキに利用されています。

店内のケーキが並ぶショウケースの周りにはご主人のスケッチ、ボタニカルアートが、店先のテーブルには竹とんぼ作り(ご主人自慢)の工作用具等も揃い、ケーキセットを傍らに、子供連れの方も竹とんぼ作りを楽しめます。

季節限定のいちじくタルト、マロンケーキに秩父産えごまロールケーキや、久喜市須賀養鶏場の「彩たまご」と小麦全粒粉(米で言えば玄米)で作るシフォンケーキは他で味わえないしっとりとした食感と風味があります。全て吟味された材料を基に丁寧に手作りされています。

そして11月には苺ショートや紅赤スイートポテト・紅赤タルトが登場します。紅赤は120年前に木崎村(現さいたま市)の農家主婦が発見し、サツマイモの女王として圧倒的な人気でしたが、最近では栽培が難しく収量も少ないので幻の芋と言われてきました。今、市では「さいたま市紅赤研究会」を立ち上げ、紅赤をもう一度見直そうという動きが広がっています。程よい甘み・懐かしい旨味で栗のような風味の紅赤タルトを是非ご賞味下さい。

見沼区堀崎町1596 TEL.048-688-6635  
\*店裏の駐車場からオープンガーデン脇の小道を通るとお店に出ます。  
営業時間:11:00～18:00 定休日:日・月  
夏期・冬期休み  
ブログ:<http://shibakawa-rakuten.doorblog.jp/>

## 美園いちごランド

12月8日(土)オープン! 大崎公園より徒歩5分。楽しいイチゴ狩り! 料金 一般・中学生以上 2,200円、小学生 1,800円、幼児(3歳~5歳) 1,500円。

自慢のイチゴのオリジナル品種“レイベリー”甘み、酸味のバランスと香り、果肉がしっかり。章姫、紅ほっぺもあります。完熟を冷蔵ショウケースでも販売。

緑区間宮 538 TEL.048-826-6360

詳しくはホームページで

<http://www.misono-ichigoland.com/>



岡田 徹さん▶

## シクラメン栽培品種50種類 「カナイズカ園芸」

見沼区丸ヶ崎で父親の後を継いで20年以上にわたりシクラメンを専門に生産直売を行っています。特長は50種類からのシクラメン栽培を行っている点です。お花屋さんでは手に入らないような一味違ったシクラメンや、香りが楽しめるシクラメンなど、あなたのお気に入りのシクラメンがきっと見つかります。フリルのあるミニサイズの可愛らしいシクラメン PIPOCAです。贈る方と贈られる方が共に喜んで頂けるよう1年をかけ丹精込めて育てた高品質なシクラメンを提供しています。ご夫妻お二人で生産から販売までを行っています。

見沼区丸ヶ崎 1220

販売期間: 11月21日~12月31日まで

ご注文・お問い合わせ: TEL.048-683-1021

## お正月には欠かせない「葉ボタン」 小泉茂雄さん

一口に葉ボタンといっても小泉さんは20種以上を作っています。まさに「葉」ではなく「花」!です。ピンクに紫、それぞれ濃淡があり、黄色から白、サイズもいろいろ、見沼たんぽの冬をお花畠に変えています。種まきは7~8月上旬、植え付け9月上旬、そして11月から出荷。その数20万鉢とか、ご本人もはつきりと数字を数えていないとか。お勧めは葉ボタンの寄せ植え、何と5種類の葉ボタンにジュリアン等の苗が添えられた鉢が780円! 玄関先に飾ると素敵です。

販売は見沼たんぽにある小泉さんのビニールハウスで直売の他すべての農協のぐるめ米ランドやシャキシャキ(木崎)等の直売所で。一鉢は各130円。

見沼区膝子 300 TEL.048-683-0876



小泉茂雄さん▶



▲新品種シクラメン PIPOCA

金井塚ご夫妻▶

## 人と環境にやさしい農業の講演会

### ～農業・福祉・観光を結び付けた「見沼地域 元気化計画」～

日時: 平成31年1月31日(木) 15:15~16:30 / 会場: 七里公民館・大会議室

講師: 丸 志伸さん(株式会社ベストワーク)

農村の原風景が残る『見沼地域』が、これまでの農業基盤を活かし、継続的に発展することを目指して、後継者不足の課題を抱えている地場産業である植木産業に新たな担い手を見出す事業について講演します。今年から障がい者が植木の生産プロセスの一部である“挿し木”に参画をいただき、この活動が定着すれば、障がい者の就労支援と“地元らしさ”を新たなかたちで結び付けて継承していくことができると考えています。現状の活動を紹介しつつ、今後の『見沼地域』の発展に向けた活動構想を共有させていただきます。

●問合せ先: 黒澤 kuroswawa@peach.ocn.ne.jp

丸 志伸さん▶  
(株式会社ベストワーク)  
緑区上野田 492  
TEL.048-812-2677



### 植木産業を通じた「障がい者の社会参画促進」活動について

見沼周辺地域は、植木生産が地場産業として確立していましたが、現在は都市化・市街



▲障がい者の協力による挿し木苗床

化の影響を受け、後継者不足に陥っています。以前は地域経済を支えてきた植木産業の技術伝承も難しくなっているのが現状です。こ

の技術の新たな担い手として、障がい者が植木の生産プロセスの一部である“挿し木”に参画協力をいただくことで、地場産業としての技術を継承でき、障がい者のより積極的な社会参加と、地域としてのアイデンティティーの継承の双方を実現するができると考えます。都心からのアクセスも良く、かつ農村の原風景が今なお残る場所である『見沼地域』が、その希少性を活かしながら、誰もが暮らしやすく、働きやすく、寛げる場所になることを目指して、現在、新規事業の立ち上げ活動の2年目です。

## Information

### 「見沼たんぽにフナ(藁塚)と冬鳥を訪ねる」

平成30年12月15日(土)

集合場所・時刻: 浦和美園駅改札口 9:30 / 解散場所・時刻: 浦和美園駅西口 13:45 / 距離: 3.0km / 参加費: 300円

主なコース: 埼玉高速鉄道浦和美園駅⇒(バス)⇒締切橋→加田屋新田(フナ見学)→見沼自然公園(冬鳥見学)→さぎ山記念公園・さぎ山記念館⇒浦和美園駅(弁当持参)  
申し込み先: 担当ガイド 三好あき子 a-hill-m@nifty.com FAX: 048-763-7610



### 「平成31年初詣 二つの富士塚と氷川女體神社」

平成31年1月3日(木)

集合場所・時刻: 東浦和駅改札口前広場 9:00 / 解散場所・時刻: 東浦和駅改札口前広場 13:30 / 距離: 10.0km / 参加費: 400円

主なコース: 東浦和駅→見沼通船堀→木曾呂富士塚→川口自然公園→東沼神社富士塚→第一調節池→大崎公園(弁当)→木曽神社→氷川女體神社→見沼氷川公園→芝原小バス停⇒浦和美園駅(弁当持参)

申し込み先: 担当ガイド 北原典夫 minuma.farm.kitasaku@ever.ocn.ne.jp  
携帯 090-2675-1684 FAX: 048-834-5731

お申込み・問い合わせは担当ガイドまで。見沼たんぽ地域ガイドクラブ info@minuma-guide-club.com

ツアー詳細についてはホームページ <http://www.minuma-guide-club.com/>



今号に掲載された、見沼たんぽ地域のお米・野菜・果物・花木 直売所等マップ



市民が応援する見沼たんぽ地域での人と環境にやさしい都市農業の広報誌  
**「見沼・旬彩」2018-2019年 冬号 vol.10**

発行：未来遺産・見沼たんぽプロジェクト推進委員会

<http://minuma-miraiisan.jp> e-mail : [minuma@minuma-miraiisan.jp](mailto:minuma@minuma-miraiisan.jp)  
バックナンバーはホームページよりご覧になれます。

編集：見沼農業・応援連携部会／デザイン・印刷：有限会社アームズ  
発行日：2018年12月5日

We  
Love  
Minuma

この見沼農業の応援連携・季刊誌「見沼・旬彩」は、公益財団法人 サイサン環境保全基金様、公益信託 武蔵野銀行みどりの基金様からの助成金で印刷・発行しております。